ちとせ 砧才2
1987.6 №21
発行：編集委員会
編集責任者：堀江貞雄
事務局：砧才2出張所内 (482)0343

烏山支所の開設について

烏山支所開設準備室長　生田歓吾

身近な区政をめざして、世田谷区は今、地域に密着した行政サービスや地域の実態に応じた、まちづくりを行うため、地域ごとの区政を進めています。

烏山地域においても、この地域の実情や実態に合った区政を進めるため、「烏山支所」を設置して、ここを中心によりきめこまかで総合的な区政を行っていくことを計画しています。

▼「烏山支所開設準備室」の役割

この準備室は、支所庁舎の確保や管轄区域の確定など開設準備の仕事を主体に、①まちづくりの仕事 ②区民センターや地区会館等の維持管理 ③地域の活動団体に対する援助など、地域に密着した仕事も同時に行っています。

▼烏山支所開設の準備状況

庁舎は、烏山区民センター東側、旧甲州街道に面した場所に建設されるビルに入居する予定になっています。また、管轄区域は、給田、南北烏山、上祖師谷、粕谷、八幡山の地域を検討しています。

今後、こうした区の計画案を地域の皆様に説明し、ご理解とご協力をいただきながら、よりよい烏山地域の発展と充実を目指してまいりたいと考えております。

わがまち

生きた水の給水槽 蓮根公園に

船橋六丁目の蓮根公園に「震災対策用応急給水槽」が建設される。大震災時において、避難してきた住民が必要とする最小限の飲料水（1人1日3ℓで50万人分＝1,500㎥）の確保である。この水は消防用水としても利用できる。

この給水槽の特長は、常に新しい「生きている水」の貯留にある。配水本管から分岐した流水管で給水槽内に受水・貯留し、ポンプ加圧によって、再び流水管でもとの配水管に飲料水として返送する循環方式となっており、三日で新しい水と入れかわる。

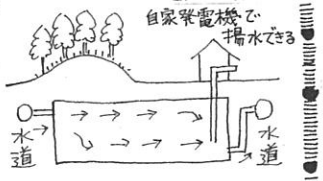
都で40基計画中で、この給水槽は37基目。世田谷区では、子供の広場公園に次いで2基目の建設である。

本年4月に開かれた船橋六丁目の建設説明会では、「工事で地下水が止まらないか。」「工事中の騒音・交通対策はできているか。」など問題になった。

工事期間は6月1日～明年3月31日。工事期間中の公園は使用できません。

震災時の飲料水や物資の配給は、広域避難場所で行われます。

（N.I）



給水槽は地下に作られ、公園は完成後に復元されます。

希望丘小学校

学校番号63。区内で二番目に新しい学校。今年で創立十四年、文字通り希望にもえ、若々しく躍動する学校、それが我が希望丘小学校である。

目の前にそびえ立つように並ぶ希望丘団地、また西経堂団地と、実に八割強の子どもたちが団地から通っている。しかし、校区をみると、緑も多く、団地の広場、希望丘公園、よし根公園等々遊び場にもめぐまれ、加えて千歳温水プールもあり、めぐまれた環境の中で子どもたちはのびのびと育っている。

昨年度は、世田谷区の健康優良校、東京都の健康努力校として、二度にわたり表彰を受けた。また、区内での水泳記録会、連合運動会等でも目ざましい活躍ぶりを示してくれている。

♪希望丘、すばらしい名前♪

校歌にもあるように、豊かな心の育成を目ざし、名前に恥じぬ学校を目ざしがんばっていきたい。（林 重男）

自主保育 ねこじゃら会

自由・闊達（カッタツ）に子どもを育てたい方。ぜひ一度、見学においで下さい。

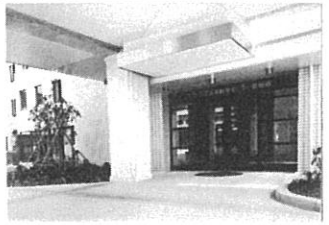
月火木金　午前10時から午後3時まで

今回は S56・4・2～S58・4・1生まれを募集しています。

〒304 世田谷区船橋5-19-2 ☎0121 大森いづみ

地域めぐり

＝都市型ホーム"新樹苑"＝



「大切なことは目には見えない。心で見なければ何も見えない」
（サン・テグジュペリ）

何年か前に、一番ヶ瀬康子先生から北欧の老人ホームについて伺ったことがあります。街の中にある小規模なホームには常に医師がいて、一般の人も診療してもらえます。ホームの住人は外出も自由、職に就くこともできるそうです。日本にもそのようなものができたらどんなに良いだろうと思いました。

このたび、八幡山に日本最初の都市型ホーム"新樹苑"が誕生しました。

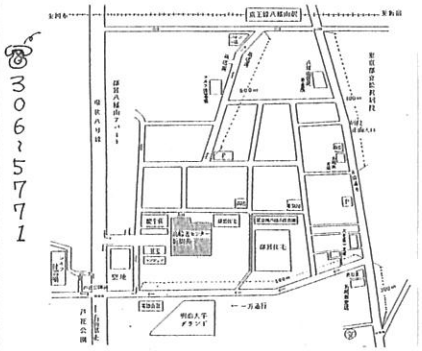
八幡山3-18-27
苑長　石川柏夫

温厚な苑長と、優しくおだやかな職員の方々にふさわしいとても明るいセンターです。

中庭を囲んでサービス部門は赤、居住部門はグレー（ミュータンと絨毯の色で区別されています。居住室は1～3階に40室。サービス施設は1階に事務室と食堂、2階に健康相談室、知室（ディホーム）、会議室（大きな鏡がありエアロビクスやダンスが楽しめます）、大広間（80人入れます）、集会室、図書室、生活相談室、機能訓練室があります。大広間には本格的な舞台があり、老人会のスター達の踊りや、保育園・幼稚園児の劇が催されたりすることでしょう。そのふれあいから、子供達は祖父母の味を感じ、また、お年寄りも未来に花開く子らに、長い年月を生きた経験を語り継ぐことのできる喜びを得るでしょう。それが、これからの人生を積極的に生きる原動力になると思います。

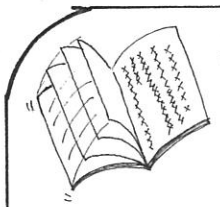
今後、色々な方の協力を得て、第2・第3の"新樹苑"ができたら……と夢は広がります。

全国的に期待されているこのセンターを軸にして、心でものを見、交りを深め、さりげない思いやりを育てながら多くの人が大切に利用したいものです。（T.I.）



〒306～5771

著名人の書いた八幡山



「昭和18年の暮、南洋ジャワから帰国して「戦争はこれからも永く続くだろう」とこんな予感から、モノを書くことをやめ、自給自足の生活を送れるようにと、百姓を始める決心をした。そこで徳富芦花、石川三四郎、鈴田研一氏らが半農の生活を送っていた現住地の松沢を選んだ訳だ」と大宅壮一は週刊サンケイに昭和32年に書いている。又、大宅昌夫人も「大きな駄々っ子に八幡山に住むようになった頃のことを書いている。

うつみ宮土理も「ちいちゃんしゃがみこまないで」の中で、物語はフィクションですと書いているものの、幼少の頃八幡山で育った雰囲気を知ることが出来る。もちろん「みみずのたはこと」の一篇に「わかれの杉」と題したのがあり、芦花宅を訪れた客を、すぐ東隣りの粕谷八幡社前の老杉の下に立ち、遠く甲州街道の方へと見送る話だが、屈曲した田んぼ道のことを事こまかく描写している。それは、八幡山の西側を通って雑木山の端から東に折れ北に折れて、大七丁住ってみ終に甲州街道に出る。此の雑木山の曲り角に、一本の檜があって、杉の下からよく見えるとあるが、最近や、と入手出来た松沢病院の空中写真（大正10年頃）で雑木山までは判別出来るものの檜は判らなかった。（S.H.）

街路灯が故障したら？

街路灯が破損又は消えている時は、次の所へご連絡ください。

①区街路灯は番号プレート（白地に緑の文字）の管理番号を確かめて、管轄の土木事務所へ
※砧二管内は烏山土木事務所です
〔☎308～8133〕

②町会、商店会などの管理灯は電柱に書かれた管理責任者へ

③都道（環8・水道道路等）は都建設局第二建設事務所へ
〔☎774～6013 直通〕

日赤社資募集のご報告

皆様の温かいご協力により、本年度の日赤社資募集は2,677,787円（6月16日現在）となりました。ありがとうございます。
（日赤奉仕団砧才二分団）

編集こうき

上野のパンダドントンも、6月1日で満1才。元気に育つのはよいが、いつまでもぬいぐるみの様でいて欲しいというのはちとワガママかなぁ??

こちら出張所コーナー

新しいです。

井上訂子（砧福祉事務所）　福祉畑のベテラン!! 出張所でも花を咲かせます

岩尾正江（消費生活課）　バイクは派手な黄色だけど性格は地味です

小島孝子（老人福祉課）　トントンも思わず眠くなる優しい声～♪

西山進（新規採用）　20才，社会人1年生，独身 GF?? どうぞよろしく…

よろしくお願いします。　（　）は旧所属